

地域福祉の充実をめざして、支える心のネットワーク！



赤い羽根共同募金

2018

2

February



# 福祉ちば

編集・発行  社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

No.177

## 特集 地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくり



地域の福祉活動

**[九十九里町] 豊海地区社協 片貝・作田地区社協**

エールちば

**千葉県ボランティアの集い**

福祉人材関連情報

**福祉のしごと就職フェア (合同就職面談会)**

県社協ニュース

**千葉県社会福祉経営者大会の報告ほか**

行ってみませんか？子ども食堂

**千葉県 生涯大学校こども食堂**



安房地域の専門職による事例検討会



生活支援・介護予防サポーターによる交流会

ど、家族の在り方や地域社会が変化してきましたが、10年ほど前から、日常生活圏域ごとに、住民が主体的に課題解決できる仕組みづくりに取り組んでいます。

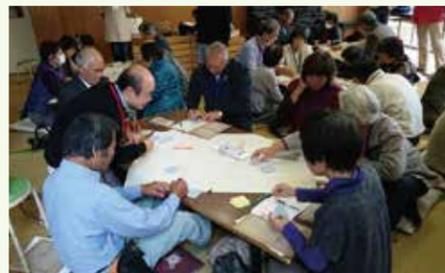
もっとも高齢化率の高い長狭地区では「生活支援・介護予防サポーター」というボランティアのみなさんが、積極的に支え合い活動を展開しています。定期的に地域課題について話し合いを行ったり、要支援者の見守りのためにマップを作成し、実際に地域を歩いて災害時の危険個所を確認する活動をしたりしています。

また、薬剤師が地域に出向いて薬の正しい飲み方の啓発に取り組んだり、医師と住民が病気などで意思決定能力が低下したときに備えてどのような医療を受けたいかを話し合うグループワーク（アドバンス・ケア・プランニング研修）を行うなど、恵まれた医療環境を活かした活動も行っています。

このような支え合い活動を展開する中で、住民では対応できない困難な課題を抱えた家庭があることが見えてきました。そこで住民から、「総合的に相談できる窓口がほしい」という声が上がリ、市直営の「福祉総合相談センター」が平成24年4月に設置されました。

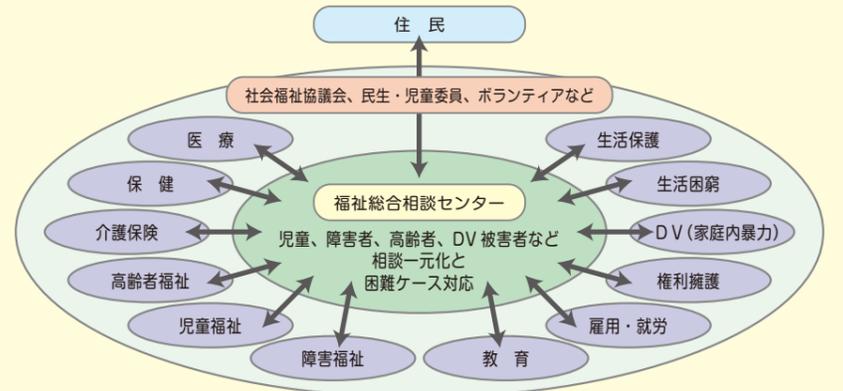
### 縦割りだった各セクションが連携して支援する仕組み

「福祉総合相談センター」は、地域包括支援センターの機能を拡充する形で立ち上げたもので、24時間365日対応しています。高齢、障害、児童、生活困窮、DVなどの相談を包括的かつ総合的に支援を行っています。「これまで縦割りだった各セクションを横断的につなげ、一



地域住民へのアドバンス・ケア・プランニング研修

### 総合相談のシステムフロー (住民にわかりやすい総合相談窓口)



- ① 主訴が明確でない相談
- ② 多様・複合的な問題を抱えた相談
- ③ 専門機関につないだり、多機関との連携が必要な相談など

緒に動ける仕組みをつくりました。しかし仕組みづくりは難しく、一年かけて話し合いを続けました」と、福祉総合相談センター長の牛村隆一さん（鴨川市健康推進課長）は振り返ります。

職員配置は14名。保健師、介護支援専門員、社会福祉士などの有資格者が揃っていますが、職員が一人で抱えて解決するというよりは、課題を整理し、解決の方向性を見出し、関係機関・団体につなぐ役割や調整役を果たしています。

翌25年には、天津小湊地区にも民間委託の「福祉総合相談センター・天津小湊」(サブセンター)を設置。来年度には長狭地区、江見地区にも設置される予定で、日常生活圏域ごとに福祉総合相談センターが設置され、より身近な地域で相談が受けられる体制となります。

### 「我が事」として捉える地域づくり

平成28年度の新規相談件数は710件ですが、課題解決まで長期間にわたり支援が必要な事例が増加傾向にあります。

例えば、障害者の父を子どもが介護し、母が外国人のため就労が難しく、生活が困窮していたケースは、子ども支援課と障害福祉課、福祉総合相談センターにてお互いに役割分担をしながら関わりをもっています。

昨年、市内全域の民生児童委員と居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に「ダブルケアや8050問題などの支援



福祉総合相談センタースタッフの皆さん

が必要と思われる世帯はどのくらいあるのか」という調査を実施しました。調査結果を集計したところ男性の独居、あるいは男性が介護している家庭が困難を抱えている事例が多いという傾向がわかりました。さらに、民生児童委員と介護支援専門員では、回答の内容が異なっており、専門性の違いにより課題意識に差があることがわかりました。

「この調査結果を専門職で共有するとともに地域住民にフィードバックし、我が事として捉えていただくきっかけにしたい」と、牛村さんは地域住民の主体的な課題解決の仕組みづくりの糸口を模索しています。

### 近隣市町との広域的な連携も推進

また鴨川市は、近隣の館山市、南房総市、鋸南町と「安房地域包括ケア連絡会」を立ち上げ、定期的にセミナーを開催。専門職のネットワークを広げ、お互いの地域資源を活用しあう関係を築き広域的な連携の仕組みづくりも進めています。

## 地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくり

鴨川市の取組み



©鴨川市2010

今、私たちの暮らしを支える福祉の在り方を見直す動きが活発化しています。公的な福祉制度だけに頼るのではなく、地域に暮らす人たちが共に支え合う社会にしていこうと、「地域共生社会の実現」が提唱されています。厚生労働省は、地域づくりのキーワードとして「我が事・丸ごと」を掲げ、平成28年7月には省内に「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が設置されました。

今回は、県内でも先進的に「我が事・丸ごと」の地域づくりに取り組んでいる鴨川市の事例を紹介します。

### 地域住民が「我が事」と捉え「丸ごと」支援していく

これまでの公的な福祉の仕組みは高齢、障害、児童など、対象者ごとにサービスや窓口が分かれていました。しかし、最近では育児と親の介護を同時に行う「ダブルケア」や、80代の高齢の親と引きこもりの50代の子どもが同居する「8050問題」など、分野横断的かつ複

雑な課題を抱える家庭が増えてきて、対応が難しくなっています。

地域共生社会の実現とは、制度・分野ごとの「縦割り」や、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域のあらゆる住民が役割を持ち、公的な福祉サービスと協働して、助け合いながら課題解決できる地域をつくりだすことです。

その際、一人ひとりの住民が、地域の課題解決を他人事ではなく、「我が事

として受け止めて取り組むこと。課題を縦割りではなく、「丸ごと」受け止め、支援する仕組みをつくっていくことが地域共生社会の実現のポイントになります。

鴨川市では、厚生労働省のモデル事業「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を受けて、「我が事・丸ごと」の地域づくりを先進的に進めています。

### 地域住民が主体的に課題解決に取り組む仕組みづくり

鴨川市は人口約3万3,000人。少子高齢化が進み、鴨川、天津小湊、長狭、江見という4つの日常生活圏域のうち、鴨川地区以外の高齢化率は40%を超えています。市の特徴として病院や医師の数が多く、医療環境が充実していることが挙げられます。

鴨川市も自治会の加入率が低下するな



鴨川市福祉総合相談センター 主査 平川 健司さん



鴨川市健康推進課長 兼 鴨川市福祉総合相談センター長 牛村 隆一さん



鴨川市福祉総合相談センター 主任保健師 田中 和代さん



鴨川市福祉総合相談センター 主査 影山 光一さん



## 高齢者に優しい海辺の町の地域福祉活動 それぞれの地区が個性的なサロン活動を展開!

豊海地区の「いきいきサロン」

千葉県山武郡にある九十九里町は、九十九里浜のほぼ中央に位置しています。人口は約1万7,000人ながら、町の東部が太平洋に面しているため、マリレジャーや海の幸を目的に、年間を通して多くの観光客が訪れます。平成29年12月には、「九十九里有料道路」のかさ上げ工事が完了し、今後、さらに活気づくであろうこの町の、2つの地区社協の活動をご紹介します。

### 毎月内容が違うから毎回楽しい! 嬉しいのは「またね」という言葉

〈豊海地区社協〉

#### ●バラエティに富んだサロン活動

豊海地区社協の「いきいきサロン」は、毎月第4土曜日の13:30～15:30まで、真亀川総合公園内にある「つくも学遊館」で開催しています(休みの月もあり)。

毎月の活動内容は、豊海地区社協の役員と推進委員が会議で決定。「マンネリ化せず、毎回楽しんでもらえるよう心がけています」と小澤君代会長。

取材に訪れた日は「お茶」を楽しもう」と題したお茶会。清水先生はもちろん、スタッフ数人が、艶やかな着物に身を包み、美味しいお茶とお菓子で、参加者をもてなしていました。

他の月の活動内容もバラエティに富んでいます。「お出かけサロン」は観光バスに乗り、毎年様々な場所に出かけます。平成29年度は、山梨でぶどう狩りなどを楽しみました。豊海小学校のグラウンドで開催する「グラウンドゴルフ大会」は、高齢者の指導の下、小学生と一緒にプレーします。子どもたちが喜ぶ姿を見て、おじいちゃん、おばあちゃんも思わず笑顔に。「ふれあい広場」は踊りやカラオ

ケを楽しみながら、ポップコーン、わたあめ、豚汁などを作り、皆で舌鼓を打つお祭り行事です。

そして最も盛り上がるのが、「ふれあいお楽しみ会」です。町内のこども園、小・中学校、高校の児童・生徒たちに加え、一般の参加者など約250名が参加。こども園の子もたのお遊戯、小学生の寸劇、中学生の合唱などが披露され、会場の多目的ホールには、笑顔と歓声が溢れるそうです。

なお、「つくも学遊館」でのサロン活動は、健康体操が一番人気とのこと。やはり皆さん、健康には関心があるようです。

#### ●何より嬉しい「またね」という言葉

豊海地区社協には、現在50名以上のスタッフが在籍。その多くが民生委員や地域で何かしらの役を担っている方です。ちなみに副会長の秋原勲さんは、「千葉県芸術文化団体協議会」の会長でもあります。

運営上、特に気を配っているのは、高齢者の方々の行き帰りの安全。そのため最寄りに住んでいる推進委員や、友人同士が声を掛け合い、車に乗り合わせて送り迎えをしている

そうです。

「この推進委員は皆、とても細やかな気配りができる、素晴らしい方々ばかりです」という小澤会長は、参加者から帰り際に、「またね」と言われるのが何より嬉しいそうです。

#### ●男性参加者を増やすために

今後については、男性の参加者を増やしたいとのこと。そのため将棋や囲碁など、男性が好む活動を盛り込みたいものの、指導者に心当たりが無いため、なかなか難しいのだとか。

そこで、「将棋や囲碁の指導をしてくれる方、および男性の参加者をお待ちしています!」とのこと。ご連絡、お待ちしております!



豊海地区社協のみなさん。前列中央が小澤君代会長

### 体操・脳トレクイズ・ゲーム・カラオケ! 高齢者に優しいサロン活動を展開 〈片貝・作田地区社協〉

#### ●月に1度のお楽しみ!

片貝・作田地区社協は、他の地区社協で「いきいきサロン」に相当する「なかよしサロン」を、片貝地区と作田地区の2つに分けて開催しています。

今回訪れたのは、作田地区の「なかよしサロン」。場所は町内の介護予防拠点施設「ちどりの里」。通常は第3月曜日の13:30～15:30までですが、7月と1月は11:00～14:00まで開催。取材に訪れたのは1月で、この日はいつもより長く楽しめるからか、皆、いきいきとした表情をしていました。

#### ●体操の導入で体調が好転!

「なかよしサロン」は体操から始まり、脳トレやクイズ、そして最後はカラオケを楽しみます。

「以前はカラオケだけでしたが、介護保険制度の改正を機に、健康増進に役立つ体操やクイズなどを取り入れるよう、九十九里町社協からアドバイスされました」と、会長の野嶋壽子さん。

この地域の高齢者は歌が大好きで、体操を



片貝・作田地区の「なかよしサロン」

取り入れたばかりの頃は、少しでも長くカラオケがしたいと、不満も出たそうです。しかし、体操を取り入れてから「元気になった!」という声が聞かれるようになり、今では「体操が楽しみ!」という参加者が増えたのだとか。

#### ●推進委員の中に元保育所の先生が。

片貝・作田地区社協の推進委員には、元保育所の先生がいます。「町内に保育所があり、そこで所長を勤めた場合、代々こちらの推進委員になるならわし? になっています(笑)」と教えてくれたのは、いつもサロンの



片貝・作田地区の「ふれあいおたのしみ会」

進行をしている村井孝子さん。やはり保育所の先生で、作田地区のサロンの内容構成も担当しています。

「保育所の先生だった人たちは、何をやらせても上手い」と野嶋会長。昨年12月に片貝地区と合同で行った「ふれあいお楽しみ会」では「越中八尾 おわら風の盆」を披露。その時の衣装も、すべて元先生方の手作りだそうです。

#### ●季節にあった行事やオリンピック。お楽しみはまだこれから!

年に1度のお楽しみが、片貝地区と合同で行く「ふれあいバス旅行」。今年度は茨城県の「国営ひたち海浜公園」へ。

また4月はサクラ、5月はツツジなど、自家用車を連ねて花などを観に行く「お出かけサロン」も、「私のひらめきとスタッフの実行力で実施しています(笑)」と、野嶋会長。

そして、「もうすぐ東京オリンピック。サーフィン会場の一宮町はすぐ近くなので、ぜひ、皆で行きたいですね。でもその前に、私が下見に行かなくては(笑)」。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックがもたらす活気は、この地域に暮らす高齢者にも、元気を与えてくれるでしょう。



片貝・作田地区社協のみなさん。(左写真:片貝地区、右写真:作田地区)左写真の前列中央及び右写真前列右から2番目は野嶋壽子会長

### 九十九里町社会福祉協議会 TEL 0475-70-3163

## 高齢者の買い物や通院を支援!

九十九里町社協は、財政的に厳しい状態が続いています。しかし、財政的に厳しくても、知恵を絞ればできる地域福祉活動もあり、現在、最も力を注いでいるのが、「ひとり暮らし高齢者外出支援サービス事業」です。

九十九里町は駅がなく公共交通機関はバスがメインです。しかし、バス停まで歩くのが困難な高齢者も少なくありません。事実、以前行った住民アンケートでは、外出支援のサービスがあれば、「ぜひ利用したい」との要望が約40%もありました。

そこで、平成25年9月から、75歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、同

事業を開始。事前登録制で現在54名が利用しています。料金は無料ですが、前日の午前中までに、電話予約をしていただきます。当日は申し込んだ方の自宅まで迎えに行き、町内にあるスーパーで買い物を済ませた後、再び自宅までお送りします。

車の運転は10名の運転ボランティアが行い、乗り降りの手伝い、見守り、荷物の積み下ろしなどは、13名の誘導ボランティアが交代で行います。

この事業は利用者に変えられ、多くの方々がこの時とばかりに、たくさんのお買い物をしています。「この日は新鮮なお刺身が買えるので嬉しい!」と、喜ん



九十九里町社協のみなさん。中央が杉田慎一郎会長

でいる姿を目にすると、こちらも嬉しくなります。

現在は町内を3つの地区に分け、各地区月1回の運行となっています。そのため、「もっと回数を増やして欲しい」との声も聞かれますが、現状ではこれが精一杯です。しかし、将来的には、週1回くらいのペースで運行できるように、努力したいと思います。

県内のボランティアが一堂に会して語り合う

# 千葉県ボランティアの集い

記念講演  
 要旨

## 勇気、元気、やる気を引き出す 励ましの言葉『ペップトーク』



講師 岩崎 由純さん  
 日本コアコンディショニング協会会長  
 日本ペップトーク普及協会代表理事



ペップトークとは、もともとアメリカでスポーツの試合の前に監督やコーチが選手を励ますために行う短いスピーチのことです。「Pep」の意味は元気、活気、活力など。岩崎氏は、日本を代表するアスレチックトレーナーですが、アメリカで学んだペップトークを、広くビジネスや教育の現場でも使えるコミュニケーションスキルとして確立しました。

ペップトークの特徴は「短い」「わかりやすい」「肯定的な言葉を使う」「魂を揺さぶる」「人をその気にさせること」の5点です。ポジティブな言葉で「して欲しい」ことを伝えて、相手にイメージしてもらおうことが大切だと岩崎氏は指摘。「ボケっとするな」では

なく「集中しよう」、「廊下を走るな」ではなく「廊下は静かに歩こう」と変換して伝えます。また、相手と普段から信頼関係を築いておくことが大切だと言います。

「ボランティア活動をされている皆さんは、目の前の人々が苦しいとき、つらいときこそ、その人の立場、精神状態を受け入れ、肯定的な言葉で『一歩を踏み出しましょう』と伝えて、支えてください」と岩崎氏。最後に「ありがとうという言葉は、最も美しい日本語であると同時に最高のペップトークです。本気でありがとうと口に出していると、相手からも本気でありがとうと言われるようになります」というメッセージで締めくくりました。

県内のボランティアが年に一度、鴨川市に集い、泊りがけで親睦を深め、共に学びあう「千葉県ボランティアの集い」(主催：千葉県ボランティア連絡協議会・千葉県福祉協議会)。37回を迎える今年も101名が参加。1月8日(月)は分科会や自主交流会、9日(火)は分科会の報告や記念講演などが行われ、大いに盛り上がりました。

## 4つの分科会で 活発な情報交換、意見交換

「千葉県ボランティアの集い」の柱となる分科会は4つのテーマが用意され、3時間にわたって活動発表や講義、討論が活発に行われました。4グループの協議内容の要旨を紹介します。



**分科会1**  
**ボランティアの現状と未来**  
 コーディネーター  
 亀山 幸吉さん (淑徳短期大学名誉教授)

まず「ボランティアってなあに?」というテーマについて話し合い、「無償で、自由な意思のもとに、主体的に目的達成に向かっていくこと」がボランティアの原点だと確認しました。福祉施設の職員が虐待などの事件を起こすケースが増えていますが、亀山氏は「いい福祉施設では、ボランティアが非常にいい役割を果たしている」と指摘。「ボランティアを通して長年の経験を活かされると、心が満たされます。そのことが自身の人生の楽しみにもつながるのではないかと結びました。

**分科会2**  
**高齢者って何歳から!!**  
 コーディネーター  
 亀田 義人さん (千葉大学予防医学センター 特任助教)

「野栄ウォーキングサークル」会長の勝又康之氏と、「指笛の会」会長の峯村純夫氏が、会の活動を発表。2つの会とも、高齢のメンバーがいまも活躍しています。亀田氏は、日本人の身体能力が若返っているというデータを紹介。「高齢者が何歳からか、数字では区切れない。人生の生きがいや、やりがいを持てる活動をしているかによって決まってくるのではないかと結論づけました。

**分科会3**  
**地域が主役の  
 地域包括ケアシステムの取り組み**  
 コーディネーター  
 和田 義人さん (千葉商科大学教授)

船橋市地域包括ケア推進課長の齋藤伸也氏が、地域包括ケアシステムについての講義を行い、それを受ける形で船橋市社会福祉協議会事務局次長の村上輝吉氏より「地域包括ケアシステムのネットワーク図は、真ん中に住まいがある」と指摘し、居住支援サービスを開始したことを紹介。また、TSUGAnoわこども食堂代表の田中照美氏から「子ども食堂は児童だけでなく高齢者や障害者が集う拠点になっている」という報告がありました。10年先のボランティアのあり方を考えたとき、「こうあるべき」という答えは見いだせない。しかし、「それぞれの地域の特性に合わせて、地域住民が独自のものをつくりあげていく。それをつくっていくのは私たちだよね」と意見をまとめました。

**分科会4**  
**多世代で創る誰も取り残さない街づくり**  
 ファシリテーター  
 柿島 淳さん (三島市役所広報広聴課課長補佐)

富樫泰良氏(実行委員長)より、御宿町の駅前に手作りの多世代交流の拠点を立ち上げた活動が発表され、柿島氏より三島市の健康施策が発表されました。三島市では住民同士の交流を通して絆づくり、生きがいづくりを推進することで、健康寿命の延伸を図っているそうです。世代によって価値観が異なるのは当然なので、お互いに尊重しあい、得意技を発揮しあい、一緒に取り組む。そして地域に共生の場をどんどん作りだしていきたいという意気込みが述べられました。

インタビュー

## 新しい時代に即したボランティアの役割とは

「千葉県ボランティアの集い」を37年間続ける中で、参加者が400人以上参加した時期もありましたが、現在は減少しています。集いを通して勉強した事を地域で生かそうとしている方々が集まっていますので、会場は活気があり有意義な二日間を過ごすことができます。

今年の分科会は、基調講演と4つのグループに分かれて話し合いが行われ、とても盛り上がりました。

「地域包括ケアシステム」が構築されていく中、ボランティアも新しい役割が求められています。今までの活動を続けていくだけではなく、自らをレベルアップし、企業や保健福祉関係者、行政と協働して街づくりにつなげていくことが大切だと思います。

今回は若い力と知恵をいただき新しい街づくりについて意見交換が行われました。この集いが多世代が集える場になることを願っています。



千葉県ボランティア連絡協議会事務局  
 渡邊 千代美さん



千葉県ボランティア連絡協議会会長  
 額賀 勉さん

4つの分科会とも、「ボランティアとは何か」という基本的なことと、若い担い手をいかに巻き込んでいくかということが話題になっていました。「三人寄れば文殊の知恵」ということわざがありますが、様々な地域の人と意見交換できることは、この集いの大きな魅力です。また泊りがけなので、分科会の後はお酒を飲みながらの楽しい交流が行われました。今後もぜひ継続していきたいと考えています。



袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会会長  
 土屋 則子さん

よその市町村の活動を学び、視野を広げたいという思いで毎年、参加しています。今回の分科会では、船橋市の地域包括ケアシステムの先進的な取り組みがとてもよかったです。今後の活動に活かしたいと思いました。



香取市ボランティア連絡協議会  
 川上 秀義さん

今回初めて参加しました。分科会でウォーキングサークルの発表を聞き、その内容のすばらしさに「我々も、もっと頑張ろう」と刺激を受けました。また「自分がやってきたことは間違っていた」と再認識できました。

# 福祉の“人材”と“仕事”を探すなら 福祉のしごと『就職フェア』をぜひ、ご活用ください!!

全国的にそうであるように、千葉県でも福祉人材の不足が叫ばれ続けています。そこで千葉県福祉人材センターでは、関係する組織や団体等の協力を得て、毎年7・11月に「福祉のしごと 就職フェア」を、2月に「福祉のしごと ミニ就職フェア」(以下、就職フェア)を開催し、福祉の人材を求める職場と、福祉の仕事に就きたい人の、出逢いをサポートしています。今回は就職フェアを効果的に活用し、福祉の人材を確保している、障害福祉サービス事業所「あきつ園」の大塩幸雄施設長と、就職フェアをきっかけに「あきつ園」に入職した松田潮美さんに、それぞれお話を聞きました。

## 就職フェアで「福祉のしごと」を見つけた人!! 就職フェアで見つけた、障がい者福祉という仕事



社会福祉法人習志会  
障害福祉サービス事業所「あきつ園」  
生活支援員  
松田 潮美さん

●ボランティアをきっかけに  
私は大学で心理学を専攻していました。卒業後、自分が何をすべきか考えていた頃、近所に軽度の障がいを持つ方々に、運動支援をするというボランティア活動があり、そこにスタッフとして1年間参加したのですが、それがすごく楽しかったのです。一緒に何かに挑戦し、成功した時の達成感や喜びを分かち合えるのが、ものすごく嬉しかったのです。この活動を続けているうちに、「こういう仕事に就けたら良いな」と思うようになり、そのような仕事をずっと探し続けていました。

●HPの写真に心を惹かれ…  
就職フェアのことは、そのボランティアで一緒だったスタッフに教えてもらいました。そして実際に足を運ぶ前に、その回に参加する事業所を、HPなどでチェックしました。その時、「あきつ園」のHPに掲載されていた何枚かの写真が、とても印象に残りました。そこに写っていた利用者の方々は皆笑顔で、すごく楽しそうだったからです。もちろん、他の事業所のHPもチェックしましたが、何か心に引っ掛かったのは「あきつ園」だけでした。そのような経緯もあり、就職フェアでは真っ先に「あきつ園」のブースに向かいました。

### ●「楽しい」職場です! という言葉

就職フェアでは大塩施設長と面談し、色々なお話をしました。仕事内容や一週間のスケジュール。そして利用者が行う受注作業、クラブ活動、選択・創作活動などが、どれも楽しめる内容になっていることなど。面談で最も心に響いたのは、「あきつ園は“楽しい”職場です!」という、大塩施設長の言葉です。私も仕事をするなら楽しい職場が良いと、ずっと思っていました。そして面談を終えて家に帰り、熟慮した末に、見学を申し込みました。

### ●「この職場で働きたい!」と強く思う

「あきつ園」を見学した時、最初に思ったのは「利用者が皆、笑顔だな」ということ。傍にいる職員の方々もやはり笑顔で、支援しているというより、一緒に過ごしている感じがして、私はこの時点で「この職場で働きたい!」と、強く思いました。

### ●発見と成長の日々

私は福祉に関する知識が無かったので、働き始めの頃は、色々戸惑うこともありましたが、ボランティア活動でも、障がいのある方と接していましたが、この職場は重度の障がいを持つ方が多いので、コミュニケーションの取り方や、考えていることを汲み取ることなどが、とても難しかったですね。だから、何か壁にぶつかった時や、解らないこ



とがあれば、すぐ先輩方に聞くようにしています。色々教えていただきながら、現在も仕事に励んでいます。まだ、働き始めて1年も経っていませんが、先輩方のご指導のおかげで、少しずつですが、成長しているのだと思います。

### ●少し範囲を広げると、新たな出逢いが

実は、福祉の仕事を探し始めた当初は、児童福祉に関する仕事をしたいと考えていました。でも、そこに限定すると道が狭くなるので、高齢者や障がい者まで範囲を広げて探した結果、今の職場にいます。就職フェアでは、様々な福祉の仕事に出逢えます。だから、ひとつに絞らずに広い範囲で探すと、希望以上の仕事に出逢えるかも知れません。私も、来年度から先輩という立場になります。私自身が先輩方に教えていただいたように、後輩を指導できる先輩になりたいですね。そして将来的には、福祉関連の様々な資格を取得したいと思います。

## 就職フェアは、私たちにとって重要な人材確保の場です!



社会福祉法人習志会  
障害福祉サービス事業所「あきつ園」  
施設長  
大塩 幸雄さん

「あきつ園」が就職フェアに参加し始めたのは、平成16年頃からです。以降、職場の状況に応じて、随時、参加させていただき、多くの人を採用してまいりました。就職フェアに参加し続ける理由は、この場に訪れる人の多くが、福祉の仕事に就きたいという、明確な意思を持っているからです。そのため、就職フェアをきっかけに採用した職員は、最初から福祉に関する意識が高いため、長続きするように思います。

ちなみに、前回参加した就職フェアでは、3名が見学や面接につながりました。その中に、当時大学3年生だった方がいて、「どうしてもあきつ園で働きたい!」と言われ、面接や筆記試験を経て内定を出しました。現在は、「あきつ園」でアルバイトをしています。このような前例もあり、私たちにとって就職フェアは、重要な人材確保の場となっており、そのため今年度の合同面談会用に当施設の紹介プレゼンテーションにも力を入れて製作しました。私が就職フェアの面談でよく話すのは、法人、そして事業所としての姿勢です。利用者の方々が、朝、目覚めた時「今日もあきつ園に行きたい」、また活動後には「明日もあきつ園で頑張ろう」と思っていたら嬉しいよう、楽しく充実した1日を送る内容を提供するために、常日頃から職員が一丸となって頑張っている……と。では、どのような人材を求めているか? まず

は人柄です。障がい者、特に、知的障がいの場合は、個性が多様でコミュニケーションが取りにくいのです。そこで、人を受け入れる優しさや、包み込むような温かさが必要であり、それが無ければできない仕事です。言葉が通じない場合もあるので、相手が求めているものを見抜かねばならないという難しさもあります。寄り添いたいという気持ちが前面に出なければ、相手がか心を開いてくれません。それが、障がい者と接する難しさです。そして、私が最も強く訴えているのは、「あきつ園」の仕事は“楽しい”ということ。仕事は楽しくなければダメ。本人が楽しまねば、利用者がついてきてくれません。もう一度言います。「あきつ園」の仕事は“楽しい”のです。最後に、福祉の仕事は3K(「きつい」「汚い」「危険」)ではなく、4K(「感謝」「勤勉」「謙虚」)プラス「感動」です。やりがいのある仕事です。ぜひ、私たちと一緒に働きましょう!

## 「千葉県社会福祉経営者大会」を開催

千葉県社会福祉経営者大会が1月25日にホテルポートプラザちばで開催され、140名を超える参加がありました。大会では、千葉県社会福祉法人経営者協議会会長 田邊信行氏による基調報告、社会福祉法人佛子園 雄谷良成氏による記念講演、全国社会福祉法人経営者協議会 平田直之氏による講義及び、岡崎貴志氏・梅野高明氏による事例解説がそれぞれ行われました。改正社会福祉法により多忙のなか、講義を傾聴する姿から、法人経営のあり方に重きを置いていることを認識させられる場となりました。



問い合わせ先：福祉施設経営支援班 TEL 043-245-1104

## 交通遺児援護基金への寄付40年

千葉県社会福祉協議会では、交通事故などで父母を失った18歳未満の交通遺児に、激励のための見舞金などを支給する交通遺児援護基金事業を行っています。黒須信行さんは、交通遺児援護基金に昭和53年から長きに渡り遺児の一助になればと毎月寄付をいただき多大な貢献をいただいていることから、今回感謝状を直接お伺いし贈呈いたしました。



問い合わせ先：総務班 TEL 043-245-1101

## PICK UP 県社協! 平成29年度 賛助会員(個人・法人)のご紹介

千葉県社会福祉協議会の活動にご賛同いただき、賛助会員として地域福祉を財政面で支えていただいている企業・団体・個人の皆様です。多大なるご支援に感謝申し上げます。【平成30年2月末現在】

- 株式会社群蒜工務店
- 株式会社エイジス
- 近代住機株式会社
- 京成トラベルサービス株式会社
- 株式会社京葉銀行
- 三栄メンテナンス株式会社
- サンエス警備保障株式会社
- 三陽メディア株式会社
- 淑徳大学地域連携センター
- 新日鐵住金株式会社 君津製鉄所
- 鈴木公夫(個人)
- 株式会社千葉銀行
- 千葉県道路公社
- 公益財団法人ちば県民保健予防財団
- 株式会社千葉興業銀行
- 株式会社千葉ステーションビル
- 千葉みらい農業協同組合
- 東葉高速鉄道株式会社
- 日本アトマイズ加工株式会社
- 東日本資源リサイクル株式会社
- プレインズ
- 株式会社文化堂
- 株式会社幕張メッセ
- JFEスチール株式会社 東日本製鉄所
- TKC千葉会
- その他(10の企業・団体)



賛助会員募集中!  
千葉県社会福祉協議会の活動に賛同し、資金的な援助をしていただく賛助会員(個人・法人)を募集しています。ご賛同いただける場合には、総務部までご一報いただければ会員制度の詳細をご説明いたします。また、本会ウェブサイト[http://www.chibakenshakyo.com/]も併せてご覧ください。問い合わせ先：総務部 TEL 043-245-1101

働いている人も!これから働く人も!  
介護・福祉に関する仕事についてもっと知りたい!  
福祉人材センターとは? 福祉人材センターは、厚生労働大臣の許可を得て、福祉施設で働きたいという希望を持つ皆さんに、無料で職業を紹介する福祉人材バンク事業を実施しています。紹介の対象となる福祉の職場は、ほぼ全ての福祉施設(施設・事業所等)です。また、職種も福祉の現場で必要とされる職種が網羅されています。

どんな資格が必要?  
福祉に関するイベント情報が知りたい  
経験は?

福祉人材センターでは福祉の仕事に携わりたい方へ無料で情報提供しています詳しくはホームページをご確認ください。

社会福祉法人千葉県社会福祉協議会  
千葉県福祉人材センター ☎ 043-222-1294 http://www.chibakenshakyo.net/

ご相談ください 福祉サービスに関する 苦情解決相談  
千葉県運営適正化委員会 電話043-246-0294  
メール support@chibakenshakyo.com FAX 043-246-0298  
【受付時間】平日9時~12時、13時~17時(土日祝日・年末年始を除きます)  
※来所面談は予約制です。事前にご連絡ください。メール、FAX、手紙も可。住所は下記と同じ。

# 赤い羽根共同募金



平成29年度歳末たすけあい募金運動にご協力いただきありがとうございました。歳末たすけあい運動は、生活困窮者や高齢者、障がい者、子どもなど、福祉サービスの必要とする方が、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの為に、皆さまの幅広い理解と参加を囀る運動です。

市町村歳末たすけあい募金は、援助や支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすため、NHK歳末たすけあい募金は千葉県内の社会福祉施設利用者のために活用させていただきます。

募金にご協力いただいた皆さま、募金活動にご支援いただいた皆さまに、厚く御礼申し上げます。

千葉県共同募金会からのお知らせ

# 平成29年度歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました

## 平成29年度 歳末たすけあい募金 千葉県の募金額 (平成30年1月末現在)

# 228,685,271円

市町村歳末たすけあい募金 209,685,068円

NHK歳末たすけあい募金 19,000,203円

### 市町村歳末たすけあい



地域の小学生が街頭募金活動に参加【四街道市】

### 市町村歳末たすけあい



1人暮らしのお年寄りに、安否の確認も兼ねた歳末給食サービス【酒々井町】

### NHK歳末たすけあい



施設の清掃活動に必要な掃除機を購入し、利用者の皆さんと使用しています。生活介護 ばんぶーはうす【柏市】

## あなたが選ぶ“つがいみち” ～使途選択募金～

使途選択募金は、あなたが応援したいテーマを選んで募金することができます。新しい形の募金です。募金の全額が選んでいただいたテーマの支援に役立てられます。応援したいテーマの番号を記入して募金をすれば、あなたの思いが、困っている人たちに直接届きます。  
※手数料無料の振込用紙を当会ホームページよりダウンロードいただけます。

### 1 生活困窮者に対する支援

ホームレスの自立支援活動やアフターケア。フードバンク活動。

### 2 子ども達に対する支援

虐待の防止、不登校・ひきこもりに対する相談・支援。逃げ場の子ども居場所作り。

### 3 子育てに対する支援

保護者の悩みに対する相談・支援。親子関係構築の手助けとなるイベントの実施。

### 4 高齢者に対する支援

高齢者への見守り活動、認知症の理解と予防、介護にかかわる研修会の開催。

### 5 孤立・虐待・自殺防止支援

悩みを抱えている人や自殺を考えている人の相談・支援。逃げ場のない人の緊急一時保護。

### 6 障がい者スポーツに対する支援

障がいを持つ選手の競技力の強化事業や、障がい者スポーツの普及・啓発活動。

### 7 被災者に対する支援

被災した方たちへの心のケア推進事業、被災者交流事業など。

※手数料無料の振込用紙を当会ホームページよりダウンロードいただけます。  
<http://www.akaihane-chiba.jp/> 詳しくは下記までお問い合わせください。

## 皆さまに支えられて、共同募金は70周年を迎えました

共同募金運動は、第二次世界大戦後、昭和22(1947)年に「国民たすけあい運動」として始まりました。戦後復興として第一回共同募金運動では、およそ6億円の浄財が寄せられ、現在では、時代の移り変わりに合わせてさまざまな地域の課題解決のための「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組んでいます。長年、運動に携わってきたボランティアの皆さま、寄付者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

## スポーツチームとコラボして募金活動を盛り上げます!



共同募金運動70周年を記念して、平成28年度に引き続き今年度も県内プロスポーツチーム2団体にご協力をいただき、赤い羽根共同募金とのコラボポスターを作成しました。また、各チームの試合会場では赤い羽根募金のブースを出展し、来場された多くのファンの皆さまから、「じぶんの町を良くするために」と、温かいご寄付をいただきました。お寄せいただいたご浄財は、皆さまの身近な福祉活動の支援として活用させていただきます。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

### 合言葉は「募金もプレーも千葉のために」

平成20年から共同募金運動へご参加をいただいている千葉ロッテマリーンズ様は、チーム独自の取組みとして、選手が千葉県民のために戦うイベント「ALL for CHIBA」を実施しています。「じぶんの町を良くするしくみ。」である共同募金会とは、「福祉」と「スポーツ」という異なる分野ではあるものの、同じ「千葉を良くしたい」という熱い思いを胸に、共同募金運動へご協力いただいております。



【左】平成29年度 赤い羽根共同募金コラボポスター  
【右】昨年(9月)開催のイスタンリーグの試合会場にて「スーちゃん」と Splash!! の皆さまが募金の応援

### 日本で一番「魅せる」バスケットボールチームは、地元、千葉と一緒に成長していきます。

昨年観客動員数日本一を達成した千葉ジェッツふなばし様は、船橋市をホームタウンとして活躍中のチームです。エンターテインメントのプロフェッショナルとして、質の高いサービスとチームの力でプロバスケットボールリーグ(Bリーグ)を牽引しながら、スポーツ教室の開催など、地元千葉のために様々な地域貢献をされています。今年度はオリジナルグッズ作成にもご協力をいただき、千葉県を福祉の面からも盛り上げていきます。



【左】昨年(12月)開催の試合会場での募金活動の様子。  
【右】寄付者へのお礼として配布した、選手名入りのオリジナルシリコンバンド

## 社会福祉法人 千葉県共同募金会

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター2F  
TEL:043-245-1721 FAX:043-242-3338  
<http://www.akaihane-chiba.jp/>



赤い羽根 5137



千葉県共同募金会  
アソシエイト・ボランティア  
(つむぎ)

## 地域の情報ひろば

### 平成30年度千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業 応募説明会

- 日時: 平成30年5月10日(木) 13:30~15:30 (受付開始13:00)
  - 場所: 千葉県社会福祉センター(予定)(千葉市中央区千葉港4-3)
  - 対象・定員: 地域ぐるみ福祉振興基金(市民福祉活動団体助成・ひまわり助成事業)の応募を検討している団体の担当者
  - 主催: 千葉県社会福祉協議会
  - 内容: ボランティア団体やNPO等が行う市民福祉活動を支援することを目的とした「市民活動団体助成」と介護保険法等による公的サービス以外の地域福祉サービス(たすけあい活動や制度外有償サービスなど)の新規立上げや事業拡充を行う団体を支援することを目的とした「ひまわり助成事業」の募集開始に先立ち、申請を検討している団体の担当者の方を対象とした説明会です。
- 説明  
千葉県地域ぐるみ福祉振興基金について  
平成30年度助成募集について  
(募集要項について、申請書類の記入方法など)
- 質疑応答  
○その他
- 参加費: 無料
  - 参加方法: 参加の際は事前に下記連絡先にご連絡ください。
  - 問合せ先: 千葉県社会福祉協議会 総務部 TEL:043-245-1101

### 平成30年度八街北地区社会福祉協議会 三区合同防災訓練【八街市】

- 日時: 平成30年5月12日(土) 8:00~12:30
  - 場所: 八街市立八街北小学校
  - 対象・定員: どなたでも
  - 主催: 八街北地区社会福祉協議会
  - 内容: 住民一人ひとりの防災に関する意識の高揚と防災行動力の向上及び地区並びに防災関係機関が相互に緊密な連携強化を図り、自助・共助・公助そして近助を生かした防災を目的に訓練を実施します。  
○地震発生を想定し、区内の住民による避難訓練。  
○校庭にて起震車の体験や各関係機関団体によるブース展示等を予定します。
- 参加費: 無料
  - 参加方法: 参加の際は事前に下記連絡先にご連絡ください。
  - 問合せ先: 八街市社会福祉協議会 ☎043-443-0748  
来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

### 福祉子どもまつり【茂原市】



- 日時: 平成30年5月13日(日) 10:00~14:00
  - 場所: 茂原市総合市民センター
  - 対象・定員: どなたでも
  - 主催: 茂原市社会福祉協議会
  - 内容: ステージパフォーマンスなどの野外プログラム、福祉体験、子どもワークショップ、模擬店多数出展、福祉ウォークラリー、バザー、子ども縁日など、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん。
- 参加費: 無料
  - 参加方法: 直接ご来場ください(申し込み不要)
  - 問合せ先: 茂原市社会福祉協議会 TEL:0475-23-1969

### 社会福祉施設 経営相談専門家相談カレンダー(平成29・30年度)

月	会計等(税理士・公認会計士)	労務等(社会保険労務士)	法律(弁護士)
3月	5日(月)・19日(月)	7日(水)・22日(木)	14日(水)・28日(水)
4月	2日(月)・16日(月)	4日(水)・18日(水)	11日(水)・25日(水)
5月	7日(月)・21日(月)	16日(水)	9日(水)・23日(水)

●要予約。一般相談・予約は☎043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで  
●4月と5月については予定です。詳細はお問い合わせください。

## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

平成29年度  
全国200万人  
加入!!

保険金額		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
通院保険金日額		4,000円	6,000円		
賠償責任補償	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
	葬祭費用保険金(特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)			
タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

### 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
<引受幹事> 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

行ってみませんか?  
**こども食堂**

**千葉県生涯大学校 こども食堂**



運営主体 千葉県生涯大学校 東葛飾学園 (江戸川台)  
 連絡先 Tel 04-7152-1181  
 ホームページ <http://chiba-shougaidai.jp>

- 開催日時: 第3土曜日16:30~18:00
- 開催場所: 千葉県生涯大学校 東葛飾学園 2F (江戸川台)
- 参加費: 高校生以下は無料、大人200円

このぼりが  
目印です!



がないため、たくさんのお子どもたちに来てもらい、交流する中から、支援できることが見つければ…とのこと。

●千葉県生涯大学校内にある「こども食堂」

「おじいちゃん・おばあちゃんが食堂をやっています」。

これが、今回ご紹介する「千葉県生涯大学校 こども食堂」のアピールポイント。スタッフの平均年齢は70歳超とのこと。その名の通り、現在は同校の地域活動学部にも所属している、班の1つが運営しています。2017年12月にオープンしたばかりで、取材に訪れたのは2018年1月の、2回目の開催日でした。

こちらの「こども食堂」の特長は、子どもたちが調理や食事だけでなく、けん玉や折り紙などの昔遊びを、スタッフと一緒に楽しむこと。食堂の一角にはそのためのスペースが設けられています。将来的には遊びだけでなく、勉強も教えてあげたいそうです。

●多くのサポートで美味しい食事を子どもたちと一緒に

この日のメニューは、おにぎり、豚汁、そして卵焼きと、子どもたちの大好物が勢ぞろ



「たくさんのお友達と食べるおにぎり、おいしいな」

い。例えばこの日の豚汁など、多くの食材を使い大量に作ることで、家庭では出せない味を出しているのだとか。

衛生面には特に気を配り、食器は必ず熱湯で洗う、可能な限り手袋を使用する、調理担当者以外は、なるべく厨房に入らないなど、実に徹底しています。

食材にかかる費用は、現在はスタッフが負担。これに関しては、今後の課題だそうです。

食材は寄付も多く、この日もダイコン、サトイモ、ネギなどが届けられていました。また、先生方からお米をいただくなど、学校からのサポートもあるそうです。

●近隣の学校にPR、クラスメイトも協力

12月のオープン日には35組(70名以上)が訪れ、今回もまた賑わいを見せている「こども食堂」。どのようなPRをして、これだけの人を集めたのか尋ねると、オープン前、近隣の小・中学校に出向きチラシを配ったそうです。するとタイミング良く、12月に学園祭があったため、そこでもチラシを配布。さらに、近所に住むクラスメイトも、口コミで広めてくれたのだとか。

自分たちには、子どもたちの事情を知る術

●将来は地域の憩いの場に

スタートは「こども食堂」。しかし、将来的には高齢者の孤食にも対応できる、地域の憩いの場を目指したいと言います。そのためにもなるべく早く、サークル活動に格上げしたいのだとか。「東葛飾学園のサークルは、卒業生も活動できるので、そうなれば将来に渡り、継続が見込めるようになります」と、スタッフの細江保さん。さらに「とにかく一度遊びに来て、食事をして、そして気が向いたらボランティアとして参加していただければ、なお嬉しいですね」と、同じくスタッフの飯島美千子さん。

おじいちゃん、おばあちゃんたちは、来月以降もこの場所で、美味しい食事と、子どもたちの笑顔を作り続けるのでしょう。



こども食堂スタッフのみなさん

FUKUSHI-JOB SEARCH  
**福祉のお仕事**

千葉県福祉人材センター  
 TEL.043-222-1294

福祉のお仕事

検索



<http://www.nw.fukushi-work.jp/>